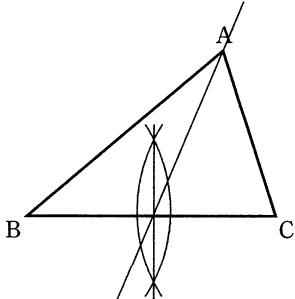


正 答 表

(27 一次・分割前期)

1	(問1)	9
	(問2)	$8a + 7b$
	(問3)	$-4 + 3\sqrt{6}$
	(問4)	-2
	(問5)	$x = 4, y = -1$
	(問6)	$\frac{-5 \pm \sqrt{37}}{2}$
	(問7)	5
	(問8)	$\frac{7}{10}$
	(問9)	



[問 1]	$b+c$
[問 2]	
2	<p>面積が $T \text{ cm}^2$ の図形は、1段増えると正方形の紙が1枚増えるから、2つ組み合わせると、どの段も同じ枚数の紙が並んだ長方形となる。この長方形の面積の $\frac{1}{2}$ 倍が T となる。</p> <p>面積が $T \text{ cm}^2$ の図形の各段の紙は (段の数+1) 枚だから、n 段目は $(n+1)$ 枚となる。したがって、長方形の n 段目の紙は $\{(n+1)+2\}$ 枚となり、どの段も $(n+3)$ 枚となる。</p> <p>正方形の紙の1辺の長さは 1 cm だから、長方形の直角をはさむ2辺の長さは $n \text{ cm}$, $(n+3) \text{ cm}$ となる。</p> <p>よって、$T = n \times (n+3) \times \frac{1}{2}$</p> $T = \frac{1}{2} n(n + 3)$

$\triangle ABP$ と $\triangle ACR$ において、

△ABCは二等辺三角形だから、

仮定から

に対する円周角は等しいから、

(1), (2), (3)より、2辺とその間の角が

$$\Delta \text{ABP} \equiv \Delta \text{ACR}$$

2
 どの段も同じ枚数の紙が並んだ長方形となる。この長方形の面積の $\frac{1}{2}$ 倍が T となる。

面積が $T \text{ cm}^2$ の図形の各段の紙は
 (段の数+1) 枚だから、 n 段目は $(n+1)$ 枚となる。したがって、長方形の n 段目の紙は $\{(n+1)+2\}$ 枚となり、どの段も $(n+3)$ 枚となる。

正方形の紙の 1 辺の長さは 1 cm だから、長方形の直角をはさむ 2 辺の長さは $n \text{ cm}$, $(n+3) \text{ cm}$ となる。

よって、 $T = n \times (n+3) \times \frac{1}{2}$